

かわ版

夢の俱楽協力会（地元の業者会）は今まで通りか
ら、**「山居倉庫のロゴ」**を記念して販売する。

現在の山居倉庫の中で販売継続が可能か?

酒田夢の俱楽協力会（梅田光隆
会長）の臨時総会が九月二十二
日、酒田労働者福祉センターで開
かれました。出席者から「引き続
き、夢の俱楽で営業を継続した
い。」という意見が多く出されま
した。これを受けて協力会の役員
が酒田市への働き掛けを模索し、
十一月四日に丸山市長と面談し
ました。

丸山市長は協力会役員と面談
地元業者の立場に理解

庄内柿は酒田で開発・完成！

種のない不思議な柿を見つけた酒井調良は、明治二十六年、西田川郡黒森村（現在の酒田市）に果樹園を作り、その柿の苗木育成に挑戦します。調良はこの果樹園で接ぎ木を繰り返すことによつて本数を増やし、明治三十年ころには苗木の分譲ができるようになるまで栽培し続けました。

しかし、この『調良柿』は一つの大きな問題を抱えていたのでした。それは『調良柿』が渋柿だったということ。柿の木は大きく甘柿と渋柿に分けられます。『富山内柿の正式名称は「平核無」
ひらたねなし
有柿』に
代表される甘柿は果実が熟せばそのまま

庄内柿を開発した庄内藩士

庄内柿は酒田で開発・完成！

種のない不思議な柿を見つけた酒井調良は、明治二十六年、西田川郡黒森村（現在の酒田市）に果樹園を作り、その柿の苗木育成に挑戦します。調良はこの果樹園で接ぎ木を繰り返すことによつて本数を増やし、明治三十年ころには苗木の分譲ができるようになるまで栽培し続けました。

しかし、この『調良柿』は一つの大きな問題を抱えていたのでした。それは『調良柿』が渋柿だったということ。柿の木は大きく甘柿と渋柿に分けられます。『富

北海道から東京へ

渋抜きの問題を解決した調良は、早速販路の拡大を目指します。原博士に『平核無柿』という名をつけてもらい、大正三年、札幌の知人に向けて柿を試験的に送りました。送った『平核無柿』

献上品「庄内柿」全国図入

こうした普及活動の最中の大正十四年の秋、当時の皇太子殿下が庄内においてになることを知った調良は、山形県西田川郡袖浦村果実共同出荷組合の代表として

く届き、これ以降、北海道への出荷は次第に増えていきます。次に東京への出荷の計画を立てます。大正十一年と十二年、三越デパートで『平核無柿』を販売しました。

どちらでも『平核無柿』は好評でした。特に東京では、それまでの市場で好評を得ていた『富有柿』よりも高値で販売されるほどでした。

山川郡黒森村（現在の酒田市）に

木樹園を作り、その柿の苗木育成に挑戦します。調良はこの果樹園で接ぎ木を繰り返すことによつ

本数を増やし、明治三十年ころには苗木の分譲ができるようになるまで栽培し続けました。

しかし、この『詠良柿』は一つ大きな問題を抱えていたのでした。それは『調良柿』が渋柿だったということ。柿の木は大きく、甘柿と渋柿に分けられます。『富

卷之三

食へられません
じょう



「この難問を解くために、調良は大正の初めに原熙（はらひろし）農学博士の元を訪ねました。原博

士は、濱抜きの方法としてアルミニウムによる方法を調良に示唆しました。この指導のもとに調良は研究を重ね、ついに焼ちゅうによる渋抜き方法を完成させました。

く届き、これ以降、北海道への出荷は次第に増えていきます。次に東京への出荷の計画を立てます。大正十一年と十二年、三越デパートで『平核無柿』を販売しました。

どちらでも『平核無柿』は好評でした。特に東京では、それまでの市場で好評を得ていた『富有柿』よりも高値で販売されるほどでした。

おりまち、これから観光物産協会と歩調を合わせて酒田市と協議をしていきます。

◎齋藤真 夢の俱楽協力会副会长長／心配なのは、山居倉庫へのお客様の減少ですね。

◎荒生満 当観光物産協会専務理事／事務局には一度も話がなかつたです。当方から要請して会和三年六月二日に、酒田市の幹部職員から弦巻会頭、眞島会長、小職が説明を受けたのが最初です。

らはしつかり話し合いましょう。

◎眞島裕 酒田観光物産協会会長／商業高校跡地への移転は可能かと何かの話しの中であつた。まだ何も決まっていないがと、参考に聞いた感じ。会議所にも協会にも記録はありません。しかし、今からが大事。酒田市と協調して進みたいと思います。

◎梅田光隆 夢の俱楽協力会会長／市長からお話を聞き、商業高交亦他多云問題では正直愚んで

高根跡地の新施設が完成する前に受託期間が切れる」とから、商業高校跡地の物産施設の供用開始まで「酒田市観光物産館」の指定管理延長の要望書を十二月二十日、酒田観光物産協会長と夢の俱楽協力会長の連名で酒田市長に提出しました。

◎ 弦巻伸 酒田商工会議所会頭
これからはよく話し合いましょう

高校跡地の新施設が完成する前に受託期間が切れる」とから、商業高校跡地の物産施設の供用開始まで「酒田市観光物産館」の指定管理延長の要望書を十二月一日、酒田觀光物産協会長と夢の俱楽協力会長の連名で酒田市長に提出しました。

今年もお世話になりました
令和二年十大二



